

<報道発表資料>

令和3年3月4日

県内で生産されたヒレナガニシキゴイが 初めて輸出されました

ヒレナガニシキゴイは、埼玉県水産研究所が作出したニシキゴイの新品種です。
このたび、県内生産者が養殖したヒレナガニシキゴイが初めて輸出されました。

ヒレナガニシキゴイは、上皇陛下が昭和52年7月、皇太子時代に水産研究所（当時、水産試験場）に来所された際、「インドネシアにヒレの長いコイがいるので、日本のニシキゴイと交配してはどうか」との御助言をいただき、育成に着手したものです。

近年、国外からの問い合わせも多く、今後も継続的に輸出が見込まれています。

今後も水産研究所では、生産者へのコイヘルペスウイルス病などの防疫や輸出の指導を適切に進めます。

● 概要

1 輸出先等

令和3年2月18日 アメリカ合衆国(ハワイ州) 0歳魚(約15cm)、1500尾

令和3年2月22日 カナダ(ブリティッシュコロンビア州)
0歳魚(約15cm)、225尾

2 輸出された品種

あさぎ くじゃく はりわけ やまぶき
浅黄、孔雀、張分、山吹

輸出されたヒレナガニシキゴイ



ヒレナガニシキゴイの品種



あさぎ
1. 浅黄



くじゃく
2. 孔雀



はりわけ
3. 張分



やまぶき
4. 山吹